

「レースを編む女」

「天秤を持つ女」

「牛乳を注ぐ女」

総力特集

「わたしが愛するフェルメール作品」解説・文 小林頼子

Best Ranking PART 1

| | | |
|-----|--------------|----|
| 1位 | 「真珠の耳飾りの少女」 | 14 |
| 2位 | 「牛乳を注ぐ女」 | 18 |
| 3位 | 「デルフト眺望」 | 22 |
| 4位 | 「絵画芸術」 | 24 |
| 5位 | 「天秤を持つ女」 | 26 |
| 7位 | 「真珠の首飾り」 | 28 |
| 8位 | 「紳士とワインを飲む女」 | 30 |
| 8位 | 「信仰の寓意」 | 32 |
| 8位 | 「窓辺で手紙を読む女」 | 34 |
| 10位 | 「天文学者」 | 36 |
| 10位 | 「手紙を書く女」 | 38 |

犯罪、カメラ・オブスキュラ、遠近法

完全ガイド

Johannes Vermeer

フェルメール

Best Ranking PART 2

| | | |
|-----|------------------|----|
| 12位 | 「地理学者」 | 44 |
| 12位 | 「小路」 | 46 |
| 14位 | 「レースを編む女」 | 48 |
| 14位 | 「青衣の女」 | 50 |
| 16位 | 「マリアとマルタの家のキリスト」 | 52 |
| 16位 | 「手紙を書く女と召使」 | 54 |
| 18位 | 「2人の紳士と女」 | 56 |
| 18位 | 「窓辺で水差しを持つ女」 | 58 |
| 20位 | 「眠る女」 | 60 |
| 20位 | 「少女」 | 62 |
| 20位 | 「士官と笑う女」 | 63 |

ウルトラマリンプルー、都市景観画

「フェルメール完全ガイド」制作にあたり

- ・本ガイドでは、美術史家・小林頼子氏と編集部がテキスト作成にあたりました。ただし、各ページの見出し、ランキングに関わる評価数値、総合順位などは、編集部実施のアンケート結果（本書12P参照）に基づき、もっぱら編集部の責任において決定しました。
- ・本書におけるフェルメール作品掲載順は、上記アンケート結果に従っています。画家の想定される制作過程を追って作品理解をしたい場合は、参考文献に挙げた尾崎、小林あるいは高橋各氏の著書を併せてご参照下さい。

Best Ranking PART 3

| | | |
|-----|----------------|----|
| 23位 | 「取り持ち女」 | 68 |
| 23位 | 「音楽の稽古」 | 70 |
| 23位 | 「稽古の中斷」 | 72 |
| 26位 | 「合奏」 | 74 |
| 26位 | 「恋文」 | 76 |
| 26位 | 「聖女フラクセデス」 | 78 |
| 29位 | 「リュートを調弦する女」 | 80 |
| 29位 | 「ダイヤモンドとニンフたち」 | 82 |
| 31位 | 「ヴァージナルの前に立つ女」 | 84 |
| 31位 | 「ヴァージナルの前に座る女」 | 86 |
| 31位 | 「ギターを弾く女」 | 88 |
| 31位 | 「ヴァージナルの前の女」 | 89 |
| 35位 | 「女と召使」 | 90 |
| 35位 | 「赤い帽子の女」 | 91 |
| 37位 | 「フルートを持つ女」 | 92 |

コメントをいただいた識者プロフィール

卯本 淳

Sunao Umoto
＜出版・映像プロデューサー＞

東京大学文学部美術史学科卒。文化放送、日本映画批評家大賞アニメ部門統括などを経て、現在CITA製作委員会共同代表。『少年ジャンプ』黄金のキセキ（集英社）出版プロデュースなど。

白井 美穂

Mio Shirai
＜美術家＞

女子美術大学特別招聘教授。1988年 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程修了。1993年ACCアジア交流基金グラントとして渡米、国内外で展覧会を行う。近年は2013年「瀬戸内国際芸術祭」「あいちトリエンナーレ」（愛知県美術館）、2018年「絵画の現在」（府中市美術館）等に出品。

藤田 令伊

Rei Fujita
＜アート鑑賞ナビゲーター＞

アート鑑賞ナビゲーター、大正大学文学部非常勤講師。鑑賞者の立ち位置を大事しながらアートの楽しみを広げる活動に尽力。独自の視点によるアート情報サイト「ARTRAY」主宰。著書に『フェルメール 静けさの謎を解く』（集英社新書）、『企画展がなくても楽しめるすごい美術館』（ベスト新書）などがある。

中村 剛士

Takeshi Nakamura
＜美術プロガー＞

Tak(タケ)の愛称でブログ「青い日記帳」を主宰する美術プロガー。展覧会レビューをはじめ、幅広いアート情報を発信する。休日はほとんど美術館・博物館へ足を運んでいる。美術館のカフェやレストランにも詳しい。関わった書籍に『フェルメールへの招待』（朝日新聞出版）『美術展の手帖』（小学館）、著書に『いちばんやさしい美術鑑賞』（ちくま新書）がある。